

2019年8月17日

2020年度

大学院経営管理研究科 経営管理専攻

修士課程 入学試験

(経営分析プログラム)

【小論文試験問題】

以下の文章と図は、1988年に公表された伊藤元重著「温室の中での成長競争：産業政策のもたらしたもの」(伊丹敬之, 加護野忠男, 小林孝雄, 榊原清則, 伊藤元重著『競争と革新—自動車産業の企業成長』所収)から抜粋したものである(抜粋に際して、一部の小見出しを省略するとともに、文章の一部を改変している)。

この文章を読んで、以下の問1から問4に答えなさい。なお、解答にあたっては、全て日本語で書くこと。

- 問1 下線部(A)に関して、なぜ当時の日本がシェア争いの傾向を強く持ったのかについて300字以内で説明しなさい。
- 問2 下線部(B)に関して、寡占的産業において企業が価格競争を行なう場合と投資競争を行なう場合とを比較し、それらが企業成長や長期的な産業のパフォーマンスに与える影響の相違点について300字以内で説明しなさい。
- 問3 図1～図3に関して、1960年代から1970年代前半までの自動車産業では具体的にどのような競争が行なわれたと読み取れるかを300字以内で説明しなさい。
- 問4 (1) 図4に関して、図から読み取れる1960年代から1980年代前半までの自動車産業における生産量シェアの変化を100字以内で説明しなさい。  
(2) なぜこのような状況が生じたのかについて、当時の自動車産業における競争のあり方の観点から、本文の内容に即して300字以内で説明しなさい。

**【文章】**

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

出典：伊藤元重著「温室の中での成長競争：産業政策のもたらしたもの」伊丹敬之，加護野忠男，小林孝雄，榑原清則，伊藤元重著『競争と革新—自動車産業の企業成長』所収，東洋経済新報社，1988年，pp.173-186.

この部分の図表(図3-1)は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の図表(図3-2)は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の図表(図3-3は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の図表(図3-4は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。